

決勝

# 倉敷商21年ぶり栄冠



△決勝  
関西01000000000  
倉敷商020000010×  
△三塁打 木村△二塁打  
谷、福島△暴投 木村  
【評】倉敷商は木村が

単打5本に抑えて1失点  
完投。左腕から切れのあ  
る直球を投げ込み、要所  
で踏ん張った。打線は二  
回、1死二、三塁から川  
た。

井の中前適時打と原田の  
スライズで逆転。木村の  
右中間三塁打と犠飛によ  
る七回の追加点も効いた。  
（岡崎創史）

【倉敷商一関西】2回裏倉敷商1死二、  
三塁、川井が中前適時打を放ち、1-1  
の同点に追い付く。投手白井、捕手岩本  
=倉敷マスカット

春の県大会に續く関西との頂上決戦。打力が際立った前日の準決勝とは一転、倉敷商らしさが凝縮されたようなロースコアの展開で再度ライバルを退けた。打ち合いで守り合いでも接戦はお手のものだ。立役者は5安打1失点に封じた左腕木村。「負けちゃいけない相手」マウンドでは、ほとんど表情を変えないケールな背番号10も、関西への対抗心を隠さない。

球の出どころが見えにくいフォームで130㍍台中盤の直球を主体に強気に攻める。「要所で貰つすぐを投げ込めた」。先制点を奪われた直後の一回、逃し三振に仕留めて波に乗ると、三回からはスコアボードにゼロを並べ、「138球で公式戦初の完投勝利を飾った。バックスは2併殺を取り、無失策。

立役者は5安打1失点に封じた左腕木村。「負けちゃいけない相手」マウンドでは、ほとんど表情を変えないケールな背番号10も、関西への対抗心を隠さない。（岡崎創史）

## 左腕1失点完投 攻守堅実競り勝つ

関	西	渡	塩	白	片	恋	盛	熊	石	西	岩	江	栗	浜	赤	計
⑥	⑥	④	⑥	①	⑤	③	⑧	⑨	②	⑦	①	④	①	⑦	285	
⑥	⑥	④	⑥	①	⑤	③	⑧	⑨	②	⑦	①	④	①	⑦	2793	
⑥	⑥	④	⑥	①	⑤	③	⑧	⑨	②	⑦	①	④	①	⑦	2610170	
⑥	⑥	④	⑥	①	⑤	③	⑧	⑨	②	⑦	①	④	①	⑦	4360092	

倉	敷	商	横	谷	島	口	田	井	田	村	村	計
⑨	⑦	⑤	⑧	③	②	⑧	④	④	①	⑦	①	20100000000000000
⑨	⑦	⑤	⑧	③	②	⑧	④	④	①	⑦	①	44311300000000000
⑨	⑦	⑤	⑧	③	②	⑧	④	④	①	⑦	①	21122331110000000
⑨	⑦	⑤	⑧	③	②	⑧	④	④	①	⑦	①	31000000000000000

関26球犠盜失残併  
倉4360092

## 準決勝

# 倉敷商雪辱の7得点



【創志学園—倉敷商】2回表倉敷商2死満塁、祢屋が左前適時打を放ち、2-0と先制する。投手西、捕手横関＝倉敷マスカット

**創志12安打も  
一押し足りず**

倉  
△準決勝

倉敷商	0	4	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	7
創志学園	0	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	13

△本塁打 谷  
△二塁打 西2、森末△暴投  
木村△捕逸 横関

打安点	3	1	2	0	2	1	0	2	0	0	0	0	打安点
屋井	8	4	5	4	4	5	5	4	5	4	5	5	田子
本島	3	4	2	1	5	4	1	2	0	0	0	0	末
口	5	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	関田
田井	0	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	畑山
村田	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	加
田	0	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	上
倉	9	8	7	6	5	4	3	2	1	1	0	1	草西
商	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	森
祢	川	橋	福	田	岡	安	木	原	計	36	13	7	田

【評】倉敷商が13安打で打ち勝つた。二回2死打で一塁から安井と原田とがヒットでつなぎ、祢屋とがトドを広げた。安井、木村の両左腕による継投で相手の反撲を振り切った。谷の右越え2ランで斯く西が痛打された。12安打を放った打線は得点後にもう一押し欲しかった。

(岡崎創史)

## 速球派右腕を攻略

創志学園は頼みのエース西が痛打された。12安打を放つた打線は得点後にもう一押し欲しかった。

(岡崎創史)

創志学園は頼みのエース西が痛打された。12安打を放つた打線は得点後にもう一押し欲しかった。

（岡崎創史）

「3年生の分まで勝ちたかった」と谷は言う。速球派の大型右腕対策として、練習で打撃投手を務めてくれたのは旧チームのエース引地だった。創志学園とは中国大会で再戦の可能性がある。橋本は「自信を持って戦いたい」。夏のリベンジは、まだ終わらない。

5安打完封負けした岡山大会準決勝から2ヶ月余り。ここまで漏りがちだった倉敷商打線は、因縁の相手、創志学園・西との対戦によって自覚めた。七、九回を除く毎回の13安打で7得点。前回、終盤の同点機で三振した祢屋は二回に先制打を放ち、「借りを返したかった」と誇らしげだ。

「とにかく迷わない」（森光監督）。作戦はシンプルだった。三振も覚悟の上で各打者が狙い球を絞り、140キロ台中盤のストレートをはじき返したと思えば、鋭い変化球にも食らいつく。いつものように三振を奪えないことで西のペースは乱れていった。

4点を先行した二回は下位の安井と原田が2ストライクから粘って2死満塁とし、祢屋が「夏の対戦をイメージしてきた」と低めの変化球をレフトに流し打ちし、ます2点。橋本は得意の直球を狙い、中前打でさらに2点を加えた。三回は谷がヤマを張った内角球を右翼席に運んだ。

打安点	4	3	1	0	2	1	0	1	1	0	0	0	打安点
田子	4	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	西
末	5	4	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	関田
畑山	4	5	5	5	1	2	0	0	0	0	0	0	上
岡	4	4	5	5	1	2	0	0	0	0	0	0	草西
山	4	4	5	5	1	2	0	0	0	0	0	0	森
田	4	4	5	5	1	2	0	0	0	0	0	0	田
加	4	4	5	5	1	2	0	0	0	0	0	0	上
上	4	4	5	5	1	2	0	0	0	0	0	0	草西
計	36	13	7	8	4	4	4	4	4	4	4	4	4

打安点	4	3	1	0	2	1	0	1	1	0	0	0	打安点
田子	4	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	西
末	5	4	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	関田
畑山	4	5	5	5	1	2	0	0	0	0	0	0	上
岡	4	4	5	5	1	2	0	0	0	0	0	0	草西
山	4	4	5	5	1	2	0	0	0	0	0	0	森
田	4	4	5	5	1	2	0	0	0	0	0	0	田
加	4	4	5	5	1	2	0	0	0	0	0	0	上
上	4	4	5	5	1	2	0	0	0	0	0	0	草西
計	38	12	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

倉	5	5	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0
振	5	5	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0
球	5	5	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0
派	5	5	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0
右	5	5	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0
腕	5	5	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0
を	5	5	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0
攻	5	5	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0
略	5	5	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0

# 倉敷商がっちり4強



【倉敷商一学芸館】9回裏学芸館2死満塁、二塁内野安打で1点を返すも、二走大城(16)が本塁タッチアウトとなる。倉敷マスカット

2年連続となる中国切符を手にし、次は夏の岡山大会準決勝で敗れた創志学園とぶつかる。「打ち勝つ野球も守り勝つ野球もしたい」と川井。因縁の相手へのリベンジが、2012年以来の甲子園へ、何よりの弾みとなる。

強力な投手陣を誇った旧チームと打って交わり、売りは打撃。もうちょっと打ってほしいな」と森光監督は7安打の打線に注文を付けるが、窮地でも地に足が付いた守備があるから厳しい試合を落とさない。

1点を返された四回2死一、二塁もそう。原田と二遊間を組む遊撃川井は三遊間の深いゴロをさばき、一塁へノーバウンドのストライク送球。ピッチの芽を摘んだ。

好守のリズムを生んだのは先発した左腕木村だ。1失策こそあつたものの「安心して投げられる」とバックへの信頼は揺るがず、伸びのある直球で八回途中まで6安打1失点に抑えた。

2点リードで迎えた九回2死満塁の守り。同点タイムリーハーフといふ鋭い打球が倉敷商のエース小原の足下を抜ける。だが二塁の原田が左手を伸ばしてがつちりつかむと、三塁をオーバーランした二走を落ち着いて挟み、本塁タッチアウトにした。

# ピンチで好守 2年連続中国切符

2回戦

△本塁打 田口  
▽二塁打 横本・糸谷投 伊藤  
【評】倉敷商が6安打7得点と効率よく攻め快勝。一回は3四球で2死満塁とし、押し出し四球で先制した後、糸屋が「一、二塁間を破る2点適時打」を放った。五回に田口の2ランで加点。投げては左腕木村が2安打零封、2併殺を奪つたバックも堅く危なげなかった。  
金光学園は計6与四死球や暴投による失点がも

「だしない 攻撃に一矢  
を踏めなかつた。

1年福島が戻し先輩として「自分が打たない」と言ふも氣味

倉	打	安	点
④	3	1	2
⑤	1	0	0
⑥	0	0	0
⑦	0	0	2
⑧	3	0	0
⑨	4	3	0
⑩	田	2	0
⑪	島	3	1
⑫	口	3	2
⑬	本	1	2
⑭	田	0	0
⑮	井	2	0
⑯	村	1	0
⑰	計	6	5

A black and white portrait of a young man with short dark hair, wearing a baseball cap with a prominent 'K' logo on the front. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

○：「ミートして気持  
ち良かった」と倉敷商の  
5番田口は写真は笑顔  
で汗を拭つた。4点リード  
の五回2死一塁で今大  
会1号となる一発。公式

寄りの直球を捉えた打球は高々と舞い上がり、右翼フェンスを越えた。

金3300021  
振球城盗失残併  
會1612042